

Q⁹

アルコール含有消毒薬の液体とゲル剤では効果に違いがあるのですか？

A

アルコール含有消毒薬(塩化ベンザルコニウム・エタノール, グルコン酸クロルヘキシジン・エタノール, ポビドンヨード・エタノールなど)は, その製剤により手指消毒(擦式, 清拭), 皮膚消毒(清拭), 医療用具消毒(清拭)に使用されています。とくに手指消毒(ラビング・擦式)は, 流水設備のない場所でも使用が可能で, 擦式のためペーパータオルも必要ではなく, 短時間で消毒効果が得られる特徴があります。

アルコール含有手指消毒薬には, 液状製品とゲル剤が市販されています。液状の製品は, 薬液の飛散や手掌からのこぼれおちる床汚染などがあり, 頻回の使用で手荒れを起こすことがあります。それを防止するため手掌にとりやすく, 保湿性にすぐれたゲル剤があります。手指消毒効果の違いについては, 大きな違いはありません。しかし, 気を付けなくてはいけないのは, 液状剤やゲル剤とも手掌にとるとき, 1プッシュの量が製品によりまちまちで, 1~3mLまでであることです。1回の消毒には2mL以上手にとることが必要です。とくにゲル剤は, 1プッシュ, 1mLの製品が多いため, 少なくとも2プッシュが必要です(表)。

液状剤, ゲル剤とも1プッシュ1mLを手にとり擦り込んでもすぐに乾燥してしまい, 消毒効果にバラつきがみられ, 手指消毒としては不十分です。消毒時間をとるためにも2プッシュ(2mL)をとりよく擦りこみます。約30秒以上で乾燥します。すなわち作用時間がとれたことになります。液状剤の多くは, 1プッシュで3mLがでてきます。ゲル剤の場合, 3プッシュ(3mL)と多くとりすぎると手がベタつくことがあります。2プッシュがよいと思います。

アルコール含有手指消毒薬の液状剤やゲル剤とも, 手が汚れていると消毒効果が落ちるため, 手洗い(石けんと流水)したあと, ラビング(擦式消毒)することです。

表 ゲル状アルコール含有手指消毒薬の除菌効果

ラビング量	除菌率(%)
1プッシュ(1mL)	87.9
2プッシュ(2mL)	92.8
3プッシュ(3mL)	96.0

文献

- 1) 辻 明良：感染制御のための消毒の手びき。ヴァンメディカル，東京，2004
- 2) 辻 明良ほか，編集：院内感染対策へのサポート。南山堂，東京，2003

(辻 明良)